

評価シート①

大項目「教育委員会の活動状況」

中項目	点検内容	活動指標	27年度	28年度	比較増減	自己評価結果
(1)教育委員会の構成	①構成数	人	5	5	0	適正な規模を維持している。
	②年齢別	歳	60	60	0.0	(各年度12月23日現在)
	③性別	男女比率(%)	40	40	0	適正な規模を維持している。
(2)教育委員会会議の開催状況	①会議開催数	回	32	23	△ 9	教育委員会会議規則で毎月22日に定例会を開催する規定に則り、毎月1回(年12回)の定例教育委員会は開催できた。 なお、臨時教育委員は極力前期教育委員会の開催と日程を合わせる等効率化にさせ、会議自体を充実させることができた。
	②延出席数(教育長除く)	人	128	92	△ 36	延出席数の減は、開催回数の減によるものである。1回あたりの平均出席はH28 3.95人(H27 4.0人)であり、ほぼ委員の欠席はなく開催したため問題はない。
	③教育委員会開催における運営上の工夫				0	説明に時間を要する案件の資料の事前送付、また、前期教育委員会をテーマを持った勉強会としたことにより、議論の活性化をはかることができた。
(3)教育委員会会議の情報公開の状況	①会議傍聴数	人	4	0	△ 4	平成28年度は傍聴者はなく、会議開催時間や場所を工夫し、参加しやすい環境づくりに努めたにも関わらず、今後の課題としたい。
	②議事(要)録の公表	件	12	12	0	平成28年度は遅滞なく議事録を公表することができた。

中項目	点検内容	活動 指標	27年 度	28年 度	比較増 減	自己評価結果
(4)行政等が主催する行事への出席数(教育長除く)	①参加回数	回	145	118	△ 27	行政等が主催する行事に対して、出席努力・自主判断の区分をしている。前年度から27回減となり、活動量としては、昨年度より18%程度減少しているが出席努力に区分する比較的重要な行事への参加は昨年度並みであり、その職責を大いに果たしていると評価できる。
(5)議会出席状況	①議会の出席状況(教育長除く)	回	13	0	△ 13	27年8月から新教育委員会制度に移行したことで、議会への出席ができなくなったため、教育長以外の委員の出席はなかった。しかし、定例会ごとの一般質問等の質疑内容について、直近の定例教育委員会で報告しており、委員、事務局間で情報の共有はできている。
(6)首長との連携	①意見交換会の状況	人	11	8	△ 3	改正地教行法に則り、総合教育会議として公式行事の形で開催した。2回の会議に延べ8名の出席で、全員が参加している。このことは教育委員としての役割を十分果たしているものとする。
(7)教育委員の自己研鑽	①研修会等への参加状況	回	130	97	△ 33	研修に関し、出席努力・自主判断の区分をしている。自主判断による研修への参加回数は、平成27年度より2割5分ほど減少しているが、一昨年よりは多く、委員各位それぞれの分野で十分な研修活動を行っているとする。
(8)学校訪問	①学校訪問(A) 訪問率	%	100.0	87.5	△ 12.5	学校訪問(A)については延べ40名の出席努力数に対し、35名と欠席することがあった。しかし、校長に異動があったり、小中一貫等新たな取り組みを行う学校について、どのような学校運営をしているのかなどの状況把握を目的に、本来出席努力としていない学校訪問(B)にも、積極的に参加している。
(9)教育に関連する外部団体等との意見交換	①意見交換等回数	回	38	42	4	関連団体の定例的な会議への出席であり、幅広い分野との意見交換が達成できている。また、市議会への出席ができなくなったことに伴い、文教厚生委員との懇親会は、市民を代表する市議会議員との貴重な意見交換の時間であり、全員出席できたことは意義深いものであった。